

学童だより

2026年 6月29日

No.5

富岡児童クラブ

夏休みまであと3週間

今年は7月17日（金）が終業式で18日から夏休みがスタートします。そして、8月31日（月）が2学期始業式です。例年になく長い夏休みになります。

先日「夏休みにやってみたい事」ということで話し合いの場を設けました。一番目上がったことは「夏祭り」です。学童さんが主になって手作りの品を用意したり、遊ぶおもちゃを作って保育園児をむかえます。「私は、おもちゃ屋さんになろうかな?」「ぼくはクレーンゲーム屋さん」などなど…。今からワクワク楽しみにしているのが伝わってきました。他にも「ペットボトルピザ」「アイスクリーム」「お弁当作り」いろいろと候補が上がってきています。時間がたっぷりある夏休ならではの楽しいイベントを子どもたちと一緒に計画していきたいです。1年生にとっては、初めての夏休みです。みんなで楽しく過ごせたらいいなあと思っています。夏休みの計画表は後日配布します。

お手伝いありがとう!!

オヤツ前後の台拭きを率先して手伝ってくれるのはかいりさん・かりんさんです。あえて台拭き当番を決めず、子どもたちの自主性に任せています。例年、一番張り切るのが1年生です。「ありがとう!助かったよ」とお礼を伝えます。学年が上がるにつれて知らんぷりさんが多くなるのはなぜでしょう

苓北支援学校との交流会

毎年4年生は、苓北支援学校との交流会があります。保育園時代に一緒に富保で過ごした青柳心春さんも支援学校の4年生です。

「先生、心春ちゃん大きくなっとなよ。ポッチャの時、足でボールをけたんだよ」と話してくれました。心春ちゃんの成長を見れて喜んでいました。

詩の紹介

「雨」 作 野村康次郎

雨は ウンコの上にも おちなければなりません
イヤだといっても ダメなのです
だれも かわってくれないのです

宿題に取り掛かる前「いやだなあ」とつぶやく子どもたち。「いやだと言ってもダメなのです」と返すと「また、赤尾先生の口癖だ」とあきれがおの子どもたち。これを何年も続けています。実は上記の「雨」の詩から引用しています。

ずっと前に和氣先生から紹介してもらい、そのころの園児と一緒に暗唱した「詩」です。この詩の意味は

「私たちが生きていく上に起きるすべてのことは、自分自身がこの身で引き受けていかねばならず、誰も代ってくれる者はないということです。」とありました。

今の子どもたちにこの意味は理解できなくても「雨」の詩に出会えたことは、心の片隅に残っていてくれたらと願っています。

おとうさんありがとう!!

6月21日（日）「父の日」のプレゼントにプラパンのキーホルダーを作りました。「何を書こうかな?」「お父さんは緑が好きだから緑のビーズを集めよう」「喜んでくれるかな?」といろいろと考えながら取り組みました。思うような絵が描けずに困っている1年生に「書いてあげようか」と声をかけてくれる子もいました。お祝いのメッセージには「いつもおいしいご飯を作ってくれてありがとう」「一緒に寝てくれてありがとう」「あそんでくれてありがとう」「アイスを買ってくれてありがとう」・・・似顔絵もニコニコ笑っているお父さん、お父さんの好きなものを考えて描いている絵などなど世界に一つだけの素敵な作品になりました。喜んでいただけたでしょうか?



きゅうり おおきなあれ!

菌ちゃんの畑作りが完了したので、夏野菜のきゅうりを植えました。「どうやって植えるのだったかな?」とこども達に聞くと、おうしろう君が、「知っとるよ」と言って、指と指の間に苗の茎を入れて、上手にひっくり返し、そして、土に優しく植えてくれました。「さすが、完璧!」とほめると、次々に、「やってみたいです」と手をあげていました。

植え終わると、水やりも大事なお仕事です。次の日も、早速「水やりしていいですか?」と進んでしてくれる子がいたり、「私もしたいから、代わって」と友達に言っている姿が見られました。嬉しいことです。

収穫できるまでにはまだまだかかりそうですが、水やりや生長の様子に関心を持って、実がなるまでを楽しみにしておきたいです。もちろん、食べるのも楽しみです。

お知らせ

・7月18日から長い夏休みになります。例年学校からの宿題は早めに終了する子どもたちが多いです。その後も学習に取り組めるように学校で夏休みのドリルなどの販売がありますので、それを早めに購入して準備しておいてください。

・メールでも知らせしましたが、保育園前道路補修工事が6月末から始まる予定です。ご迷惑をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いいたします。

・お盆休みは8月12日から15日までです。